

2年度 予算

一般会計予算額は 219億7,500万円

— 前年度比12億1,000万円(5.8%)増 —

令和2年度各会計別の予算総額(1万円未満四捨五入)		
一般会計	219億7,500万円	
特別会計		
国民健康保険(事業勘定)	31億8,635万円	
後期高齢者医療	2億8,211万円	
国民健康保険(診療施設勘定)	9,444万円	
企業会計		
病院事業	収益的収入	12億3,451万円
	収益的支出	13億1,481万円
	資本的収入	4億8,410万円
水道事業	資本的支出	6億2,162万円
	収益的収入	6億 374万円
	収益的支出	5億9,292万円
下水道事業	資本的収入	2億4,966万円
	資本的支出	6億7,663万円
	収益的収入	11億6,603万円
	収益的支出	11億4,572万円
	資本的収入	4億 664万円
資本的支出	8億2,998万円	

令和2年度の予算は、3月6・9・10・12・13日の5日間、予算特別委員会を開き、審査しました。同委員会では一般会計と3特別会計、3企業会計を原案のとおり可決すべきものと決定。第1回定例会最終日の3月17日本会議で全て原案のとおり可決され、2年度の予算の使い道が決まりました。ここでは、予算特別委員会での質疑や2年度の主な事業などを紹介します。

予算特別委員会での主な質疑

Q テレビの難視聴地域が1559世帯、共同受信32施設のうち、今年度193世帯、共同受信4施設の改修に補助金を交付されるが、今後の計画は。

A 市内15%の人たちが難視聴地域で、国の責任で解消すべきだが、市独自の予算を確保し支援していきたい。令和3年度に3地域、4年度に2地域行いたい。

Q 空家などの対策で、所有者不明の不動産等の問題解決のための法案が今国会に国土調査法の改正案として出ているが、情報は入っているか。

A 法務局から情報をもらいながら勉強していきたい。簡素化されると無理な道路を通さなくてもいいというメリットが生じるので、その改正の流れを注視したい。

Q 大更駅前顔づくり施設の計画が進行中である。コミュニティバスの便数の増や運行の組み替えで、人の流れを中心部へと引き取り組みが必要になってくるのでは。にぎわい創出の役割も担わなければならないと考えている。西根、松尾地区はバス4台で6系統を運行しているが、病院などを經由しながら駅前への誘導については、今後検討していきたい。

Q 出会い支援事業参加者には、市から成婚時に20万円、1年間居住後には30万円の

A 祝い金が支給される。自分で配偶者を見つけて結婚しても何ら支援はない。不公平感があるのではないか。

A 相思相愛になって結婚に至ることが望ましい。結婚したらお金とか商品券を差し上げることは本来好ましくない。いずれ20万円、30万円についての事業方法を考える。

Q 保育所の待機児童ゼロを目指しているが、保育士の確保ができないなどの理由で待機児童は減らない状況である。保育士の雇用対策をどう考えているか。

A 現在松尾地区に統合保育所建設を進めている。新たに0歳児約12人を預かる事ができる統合保育所の完成を待って保育状況や職員確保も注視していく。

Q ふれあいいきいきサロンは、活発な活動をしているかと、組織はあるがあまり活動していないところがあるようだ。委託内容、活動状況をどう把握しているか。

A 社会福祉協議会に委託して実施している。平成30年度は、74サロンで1079回開催し、1万1137人が参加している。

Q 新規に始まる子育て包括支援センターの職員は、現在の業務と兼務で行うと説明している。体制をどう考えているか。

A 地域福祉課、健康福祉課の今までの2課で分担して継続する。新しい業務や、ポリシーも定期的な意見交換や調整をして、推移を見ていきたい。



令和元年度敬老会

敬老事業

【予算額】1,590万円

【事業内容】75歳以上の高齢者(5819人)を対象に敬老会を行う。2年度の100歳長寿者18人に祝金を贈呈する。



子どもの受診風景

子ども医療費助成事業

【予算額】6,188万円

【事業内容】中学生までの子どもを対象に医療費の自己負担分全額を助成する。8月以降は、「現物給付方式」となる。



着々と進む保育所建設工事

統合保育所整備事業

【予算額】4億6,334万円

【事業内容】保育環境の整備として、松野保育所と寄木保育所を統合し建設工事を行う。(令和2~3年度 定員150人)



起業志民プロジェクト事業参加者

起業志民プロジェクト事業

【予算額】3,628万円

【事業内容】プログラミング講習などの起業に必要な技術知識を身に付け、市内で起業を志す者を育成する。



平館コミュニティセンター

コミュニティセンター等管理事業

【予算額】3億6,811万円

【事業内容】指定管理する地域振興協議会への事業支援。平館コミュニティセンターの建設工事を実施する。



地域おこし協力隊活動報告会

地域おこし協力隊事業

【予算額】2,093万円

【事業内容】市内へ定住・定着に向けた起業支援、新規商品開発をめざすことで、地域活性化と定住促進を図る。

予算特別委員会での主な質疑

Q 林業振興事業、航空レーザー計測および森林解析業務委託料2503万円の内容は。

A 森林をレーザー計測し、一定面積に材積量がどのくらいあるか調査し、調査結果を基に各林業家の方にアンケートを取り、今後の経営に役立てる基礎データを集める調査である。

Q 農業用施設維持管理事業の中の越戸ため池廃止工事について伺う。

A 廃止については、地元の受益者の方から要望を聞きながら実施計画を進めていく。農地中間管理機構集積協力金交付事業の経営転換協力金の要件は。

Q リタイヤする農業者、農地の相続人で農業経営を行わない人、経営転換をする農業者が対象となる。全ての農地を10年以上貸し付けることが条件で、交付単価は10a当たり1万5千円、上限は1戸当たり50万円となる。

Q 観光施設維持管理事業公園管理などの委託の在り方について、柔軟な対応をしていく状況が地域に生じていると思うが、考えを伺う。

A 委託契約をする前に、地域の方々が楽な方向となるような意見交換をしながら、お願いしていくことが必要と考えている。

Q 河川維持管理事業の内容と場所はどこか。

A 主に市が管理する河川の、河道掘削、土砂撤去で、掘削を8カ所、護岸工事を5カ所予定している。田山区の姥子石集落周辺などである。

Q 大更駅前前の道路の進捗状況および新規区画に事業展開する希望者は何件あるか。

A 令和2年の完成予定であったが、令和5年まで延長し、現在11店舗の希望がある。新規出店の補助金もあるし、引き続き商工会なども連携し募集していきたい。大更駅東口には新市立病院およびヘリポートができる。街路灯および防犯灯も含めた照明施設は。

Q 主要路線には街路灯を設置する予定である。ヘリポートに関しては病院側とも相談しながら進めていく。

Q 通学路も含め、未舗装の市道や拡幅が必要な市道が残っている。今後の予定は。

A 平成26年の道路整備計画に基づいて実施している。通学路など安全面で問題があれば早急に対応していきたい。

Q スクールバスが老朽化し、個々に修繕していくようだが、新車に買い替えたいほうが安上がりではないか。

A 老朽化による修繕には確かに費用が掛かりすぎるが、新車購入に国の補助を利用するとスクールバス以外には使えないという制限もあり、状況を見極めながら対応していく。

討論(一般会計・3月17日本会議)

【反対討論】 米田定男議員(日本共産党)

政治執行の基盤は財政であり、適切な財政運営は常に政治の根幹である。今予算案で指摘せざるを得ないのは、市債発行額であり市債残高である。平成30年度の監査委員による決算審査意見書は「市債発行額の抑制に努められたい」としている。権威ある機関の一步踏み込んだ指摘であり重視すべきものである。市債発行の是非の判断は、その発行の目的、内容の是非こそ基本であることを十分ふまえて、それでも現段階ではその内容如何にかかわらず、数値的に市債発行を抑制すべきと判断したといえる。この意見書では、抑制の具体的目安は示されていない。常識的には、残高を増やさない、発行額を前年

度より増やさないことである。しかし、今予算案ではプライマリーバランスはマイナス約5億円、発行額は前年度比約6・4億円の増であり、抑制の方向とは完全に逆行するものである。次に、この財政状況を招いた最大の要因でもある大更駅周辺開発事業の問題である。この事業の目的は、この地区の商業的にぎわいの創出である。残念ながら未だその具体的イメージは存在していない。新たな施設への市民の流入があったとしても、それがにぎわい創出に直結する保障は無いのである。

【賛成討論】 羽沢寿隆議員(八起会)

令和2年度の予算総額は219億7500万円であり、合併後2番目に多い大型予算である。自主財源である市税収入は30億9300万円、市債発行額は35億である。予算を押し上げた主たる要因は「八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につながる畜産繁殖育成センター、松尾地区統合保育所、新市立病院、大更駅前開発などの大きなインフラ整備である。どれも市の将来のための投資であり、その分市民サービスの質の低下につながらないよう、工夫しながら予算を微減しているところに市当局の努力がうかがわれる。合併特例債などの条件の良い交付金が減額されていく中ではあるが、国の財政健全化

指針の範囲内であり、基金からの繰り入れなどで対応している。新規事業として企業立地促進事業、起業志民プロジェクト事業、平館高校支援事業、未整備市道整備事業など市の活性化を目的とした事業を行うことは評価したい。また、継続事業としては副食費無料補助、保育士育成事業など教育子育て対策、ほかに森林整備事業、りんどうを始めとした農産物振興、オリンピックに向けたスポーツ振興など、限られた財源の中で必要な事業は積極的に遂行し、検討すべき事業は真摯に向き合う姿勢が感じられる。今後財政の健全化を保ちつつ、市の発展と繁栄を願い、市民の付託に応えるよう計画的な予算の執行を期待する。



田山スキー場

体育施設維持管理事業

【予算額】 2億4,546万円

【事業内容】 総合運動公園体育館や田山スキー場ローラスキーコースなど、安全利用のため、施設の整備を図る。



令和元年度消防演習

消防団運営事業

【予算額】 9,219万円

【事業内容】 人口減による市の防災機能の低下を防ぐため、消防団組織の改編と防災活動の円滑化を図る。



冬季間の凍結による陥没ひび割れ

道路等維持補修事業

【予算額】 9,068万円

【事業内容】 冬季の凍結や通行による市道の破損箇所の修繕、側溝、法面の改良補修や草刈りなどを行う。



保土沢工場適地

企業立地促進事業

【予算額】 1億967万円

【事業内容】 設備投資などをする企業3社に対して補助する。



繁殖育成センター完成予想図

繁殖育成センター整備事業

【予算額】 19億2,958万円

【事業内容】 乳牛、肉牛の生産基盤強化するための繁殖育成センターの建設に係る費用。



農業用トラクター

農の大地担い手育成支援事業

【予算額】 2,500万円

【事業内容】 補助対象事業費100万円以上を50万円以上に引き下げて対象事業数の拡大を図り、補助する。